

日本語の文章への空白導入

名前 浅野 昂樹 学生番号 23B30010
東京工業大学情報理工学院

1. はじめに

英語と日本語の文章の大きな差の一つとして、文章に空白が含まれているかどうかがある。では、この空白を日本語に導入したらどうだろうか。今回は、「日本語の文章に空白は必要か」という疑問に対し、空白を入れた文章に関する実験を行うことで必要性を確かめる。

2. 方法

今回は同じ文章を空白の有無、漢字の有無によって4種類の手法で表記し、それぞれの読みやすさに関するアンケートを行う。また、参考として英語の文章も空白の有無によって2種類の手法で表記したものについても同様のアンケートを行う。

3. 結果

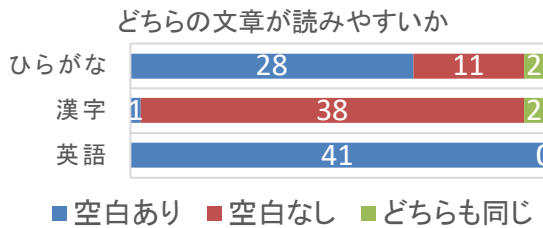


図1: アンケート結果

C

この度は研究に協力していただきありがとうございます。
どちらの文章が読みやすかったですか？
できればその理由なども書いていただけると幸いです。

D

この度は 研究に 協力して いただき ありがとうございます。
どちらの 文章が 読みやすかった ですか？
できれば その理由 など 書いて いただけると 幸いです。

図2: アンケートに使用した文章の一例

アンケートの結果、41人からの回答が集まった。結果、漢字を含む文章においては**空白がないものが読みやすい**という意見が多数派であった。一方、ひらがなのみの文章の場合、**空白のあるものが読みやすい**という意見が多数派となった。

ひらがなの場合は、空白を入れることによって意味の句切れがわかりやすくなるという意見がある一方、漢字の場合は空白を入れることで逆に読みづらくなるという意見がみられた。

4. 考察

アンケートから、ひらがなのみの文章の場合、空白を導入しないと文章の意味の句切れがわかりづらく、読みづらくなるということが考えられる。一方、漢字を含む文章の場合はこの通りとはならず、むしろ空白によって読むことを阻害されていると考えられる。このことから、ひらがなのみの文章においては**空白の導入が一定の効果をj得ることができる**反面、日常的に使用する漢字を含んだ日本語の文章において、**空白を導入することは文章の読みやすさを改善することにはならない**と考えられる。

また松田氏の論文において、今回の実験と同様の条件を用いて、文章を読む速さの違いを実験していた。その結果によれば、文章を読むためにかかるの時間に関して、漢字を含む文章は空白の有無で変化せず、ひらがなのみの文章では空白ありの方が短くなるという結果になった。このことから、ひらがなのみの文章に関しては空白によって文が読みやすくなる一方、漢字を含む文章に関しては空白を導入しても特に効果が得られないと考えられる。

以上のことから、日常的に使用する日本語の文章において、**空白の導入は読みやすさを改善にならない**と考えられる。

5. おわりに

今回は、空白の有無で分けた日本語の文章を用いて、読みやすさのアンケートを行うことで日本語への空白導入の必要性を確かめた。アンケートなどの結果から、ひらがなのみの文章に限り空白の導入の必要性が認められたが、日常的に使用する漢字を含む文章に関してはむしろ逆効果である場合が多く、空白の導入は必要ではないとわかった。

文献:

Masayuki, M. 2001 The influence of space information on reading of Japanese sentences. *The Japanese Journal of Psychonomic Science*, Vol.19, No.2, 83-92.